

2026 年 春期

ドイツ国立シュトゥットガルト
音楽演劇大学マスタークラス



主催 株式会社東京国際ツアーズ

後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

<実施概要>

ドイツ国立シュトゥットガルト音楽演劇大学にて、大学教授および元教授によるレッスンを受講いただけます。

教授陣は高い専門知識をもち、現役の音楽家として活躍する専門家で構成されています。また、希望者には

シュトゥットガルト音楽大学への留学の手続きや現地留学事情、住居等の生活事情についても情報提供をさせて

頂きます。

<趣旨>

音楽の勉強に意欲的な音楽家を対象に、豊かな表現力の習得や新たな可能性を引き出すための学習機会を提供する

ことで国際的に活躍できる音楽家の育成を行い、音楽文化の発展や向上に広く寄与することを目的として開催いたしま

す。

<開催地>

ドイツ国立シュトゥットガルト音楽芸術大学

※ 教授陣の「生徒達とより深く親交を深めたい」というご希望により、特別に各教授のご自宅を訪問し、

レッスンを受講することも可能となりました。

<マスタークラス日程>

2026 年 3 月 9 日（月）、11 日（水）

※レッスンについては受講する専攻により実施する日程が前後する可能性があります。

<対象楽器・定員>

ピアノ 6 名・声楽 4 名

※最少催行人員 5 名

<講習会参加費>

申込金 120 ユーロ

受講費 480 ユーロ ※日本語通訳込み

※聴講費用を含みます。お互いのレッスンは聴講必須になります

※申込金、受講料、通訳料はご請求発行時の当社規定レートにて、日本円でご請求いたします。

<レッスン内容>

個人レッスン45分レッスン×2回

<レッスン曲>

自由曲 2 曲程度 1 曲は約 20 分以内のものを組曲等で構成してもかまいません。

※申し込み時に提出されたレッスン曲目については事前説明会で再度ご相談いただくことも可能です。

※日本人通訳付

※声楽受講者は伴奏譜を先生にお渡しするので必ず 2 部ご用意ください。

<滞在ホテル>

Motel One Hauptbahnhof モーテル ワン ハauptバーンホフ

住所:32 Kriegsbergstraße, 70182 Stuttgart



<ツアー代金>

300,000円

【上記費用に含まれるもの】

- 1) ホテル宿泊代金（4泊分・全て朝食付）
- 2) 食事代金（夕食 4回）
- 3) 現地教授陣日本人アシスタントの先生（通訳兼務）同行費 ※TIAA より派遣し現地合流
- 4) 海外送金手数料

【上記費用に含まれないもの】

- 1) マスタークラス申込金および受講費、聴講費、通訳費
- 2) 事務手続き代金 22,000円
- 3) 往復航空券 ※下記オプションをご参照ください
- 4) 昼食代金
- 5) 夕食時の飲み物代金
- 6) 現地での移動に伴う交通費および自由行動中にかかる費用
- 7) 空港や駅⇄ホテル間の送迎費用

【オプション】

<航空券> ご希望の方は別途料金にて手配を承ります。

～宿泊・食事について～

※滞在先ホテルは1人部屋を基本としております。友人同士やご家族でご参加の場合は2人部屋の手配も可能です。 ※朝食・昼食・夕食代込み（自由行動日は各自負担）。お食事は原則皆様で一緒にお召し上がりいただきます。 指定された時間には遅れないようにお集まりください。個別手配や返金対応は一切いたしません。 ※シュトゥットガルト音楽大学への往復およびレッスンにおいては教授陣アシスタントの先生が同行 します。

※宿泊ホテルは指定した1箇所での滞在となり、教授陣アシスタントの先生も一緒に滞在いたします。

※滞在中は団体行動となります。お互いに配慮した行動をお願いします。

～渡航について～

※現地ホテルで教授陣アシスタントの先生が出迎えます。日本からの添乗員の同行はございません。

渡航時の注意点等については、説明会でご案内いたします。

※マスタークラス終了後の延泊期間については、ご自身の責任において行動していただくこととなりますので
予めご承知おきください。

※お申し込み後、1月8日（木）の締切日に催行可能かどうかの判断を行います。

ご案内後、利用飛行機会社の手配をお願いします。

手配完了後、航空券会社、便名、出発および到着日時の記載された控えを東京国際ツアーズまで PDF
添付にて2月13日（金）までにお知らせください。なお、ご自身で手配した飛行機の 遅延等によって
集合時間に間に合わない場合、また延着のためレッスンに間に合わない場合の 責任は 一切負いませ
ん（受講費・聴講費・ホテル代金等の返金はありません）。

ご自身の責任においてご対応をお願いいたします。

<修了証>

マスタークラス修了日に担当教授よりシュトゥットガルトマスタークラス修了証が授与されます。

<申込方法>

お申込金（内金）として50,000円を以下の口座にお振り込みの上、HPまたは募集要項巻末の申込フォームからお申し込みください。パスポートコピー、振込明細書（お客様控え）のコピーを申込フォームに記載のinfo@ti-tours.com まで添付にてご提出下さい。

※パスポートを取得予定の方はその旨を申込フォームに記載のうえ、取得後速やかにコピーをご提出ください。

【お申込金振込先口座】

巢鴨信用金庫 西日暮里支店 普通 3187715 株式会社東京国際ツアーズ (カ)トウキョウクワイツアーズ

<キャンセルについて>

- ・事務手続き費用 22,000円。申込後のキャンセルの場合、ご返金いたしかねます。
- ・マスタークラス関連費用（申込金 120 ユーロ・受講費 480 ユーロの100%）

申込後（現地受講登録後）の取り消しに適用されます。

渡航費用（宿泊費用を除く）

- ・40日目にあたる日から31日目にあたる日まで 旅行代金の10%
- ・30日目にあたる日から3日目にあたる日まで 旅行代金の20%
- ・前々日及び前日にあたる日 旅行代金の50%
- ・旅行開始日及び無連絡不参加 旅行代金の100%

<その他>

※このマスタークラスではコンクール・オーディションにおいて成績優秀者（下記対象者）に受講費免除推薦が認められています。

- ・ 2024年1月～2025年12月までに東京国際芸術協会主催コンクールにて入賞・入選、新人演奏会オーディションにて合格・准合格された方
- ・ 2024年春期～2026年春期海外音楽大学派遣助成オーディションにて合格・准合格された方

ご参加にあたってはご滞在期間をカバーする海外旅行保険の加入が義務付けられています。

クレジットカード付帯の保険は認められておりません。必ず保険会社の海外旅行保険にご加入ください。

弊社がお勧めする海外旅行保険については、お申込み後にご案内いたします。

<オンライン説明会（ご出発前のオリエンテーション）へのご参加について>

本マスタークラスのご参加に際しては、2026年1月下旬～2月初旬頃開催予定のオンライン説明会へのご参加が必須となります。日程等の詳細については、決定次第お申込者様にご案内いたしますので、必ずご出席くださいますようお願いいたします。

株式会社東京国際ツアーズ 池袋支店

観光庁長官登録旅行業1353号 （社）日本旅行業協会正会員

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-13

TEL・FAX 03-5927-1069 info@ti-tours.com



＜ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学教授および元教授＞

ピアノ科：Hans-Peter Stenzl（ハンス ペーター シュテンツェル）教授

ハンス ペーター シュテンツェルはピアノソロとピアノデュオを指導。9 つの国際的なコンテスト（ARD／ミュンヘン 1986 年、ドラノフ／マイアミ 1989 年含む）の受賞者として、幅広く演奏活動を行っており、ほぼ全てのヨーロッパ諸国、北米、南米、西アフリカ、日本、中国、香港にてリサイタルを開催。1991 年にザルツブルグ音楽祭でデビューし、その頃から世界中の主要なコンサートホール：ベルリン・フィルハーモニー、ドレスデン聖母教会、デュッセルドルフ・トンホール、フランクフルト・旧オペラ座、ハンブルグ・ライスハレー、ケルン・フィルハーモニー、ミュンヘン・ベルサイユ宮殿、ガスアイク、シュトゥットガルト・リーダーホール、ブラチスラバ・グラーツフィルハーモニー、ベオグラード・フィルハーモニー管弦楽団、カイロオペラ、アレキサンドリアオペラ、ブガレスト・アデニエール、パリ・サルガヴォ、ロンドン・ロイヤルフェスティバルホール、ウィグモアホール、ニューヨーク・マーキンコンサートホール、マイアミ・リンコルンシアター、カラカス・テアトロ テレサ カルネロ、東京・サントリーホール、香港文化センター、広州フィルハーモニーホール等々で演奏を行う。1996 年に“ロンドンの王立音楽院会員”となり、シュトゥットガルトとロストックの音楽院で教授に任命。（ピアノデュオのマスタークラスを受け持ち、数多くの国際的な受賞者を輩出している）。国内外の数々のコンクールで審査員を務める。



声楽科（全ての音域対応可）：Thomas Pfeiffer（トーマス・プファイファー）元教授

トーマス・プファイファー（バリトン）はヘルムート・リップス教授のもとシュトゥットガルト音楽大学で学んだ。また、H・ギーゼン教授、コンラート教授、K・ナゴラ教授の歌唱クラスを受講、オペラも学んだ。教会音楽学校“Esslingen”にて講師の職につき、その後シュトゥットガルト音楽大学の教授となる。現在は退官されているが、オラトリオ歌手、またオペラ歌手として多くのフェスティバル（ワイマール芸術祭、ドナウフェスティバル、エクسプロヴァンス、フェスティバル・デ・ブザンソン等）に定期的に招かれた実績があり、多数の CD 収録、ラジオ、テレビに出演。また聖歌コースにも所属し芸術的な貢献を続けている。



